

月刊

税理士事務所

CHANNEL

●監修●
ミロク会計人会連合会

2011.2

No.354



撮影：土屋真人（中部ミロク会計人会）

2

ま る ご と 中 部 会

- 事務所訪問 ● 森田勝己税理士事務所……2
- 百年企業 ● (有) 浜地屋……5
- MJSサービスを活用した事務所経営 ● 税理士法人グッドパートナーズ会計事務所／会計大将……6
- シリーズ企画 ● 改正労働基準法のポイントvol.3……8
- 我が事務所の顧問先紹介 ● (株) 水鳥工業……10
- ご当地自慢 ● 愛知県安城市……12
- MJS INFORMATION……14
- ミロクシステムQ&A ● 『ACELINK Navi・ACELINK所得税確定申告書(よくあるお問い合わせ)』……15
- 会計人のリレーエッセイ ● 中部ミロク会計人会 大石準二 ……19

次号は“ まるごと沖縄会 ”です

MAS監査と現場主義で 苦境に立たされている 中小製造業をサポート!!

森田勝己税理士事務所の皆さん



森田勝己税理士事務所

モノづくりのまちの 中小製造業の駆け込み寺

森田先生は物心がついたときから、ビジネスに対する興味を持っていました。

「父がハムの製造会社を経営していたこともあって、商売というものに漠然とした憧れを持っていたのです」

その後、商業高校で税理士という仕事があることを知り、地元の税理士事務所に就職することになりました。以来、勤務のかたわら試験勉強に打ち込み、事務所を辞めた翌年に試験に合格したそうです。

そして、先生は昭和51年に森田勝己税理士事務所を開業し、今では安城市を中心に500件以上の顧問先

森田勝己税理士事務所は一見すると、デザイン事務所かと思ってしまうようなモダンな造りの事務所です。現在は1階にMAS事業部と総務部、2階に税務会計部、3階にセミナールームを配置して、顧問先をサポートしています。さっそく、所長の森田勝己先生に事務所の特徴をうかがってみました。



■所在地／〒446-0051 愛知県安城市
箕輪町半夏1番地2

■TEL／0566-74-3377

■FAX／0566-77-1448

■職員数／36名

■設立／昭和51年

■URL／<http://www.e-morita.jp/>

をサポートしています。その内訳を見てみると、中小製造業の比率が多いのが特徴です。

「安城市はトヨタ自動車関連のデッソーやアイシン精機の企業城下町です。そのため、自動車関連の中小製造業が集中しており、必然的に顧問先の多くが中小製造業になっているのです」

しかし現在、多くの顧問先が苦境に立たされているそうです。

「リーマンショック以降、売上げが半減してしまった会社が目立ちます。最近になってようやく仕事量は増えてきましたが、単価は依然として低いままなので、売上げはほとんど回復していません。製造拠点の海外シフトが進行しており、厳しい価格競



「迅速な対応で顧問先をサポートするのがモットーです」と話す森田勝巳先生

争が繰り広げられているのです」

しかし、中小製造業の経営者はどうしても職人肌になりがちです。そこでこれからは数字をしつかりと把握し、経営感覚を培っていくように指導しているそうです。

MAS監査事業部で 顧問先をソフト面から支援

とはいえ、急に数字に強くなった、グローバル化をはかったりすることはできません。そこで、先生は3つの事業部を立ち上げて、顧問先のサポートを展開しています。

「企業の人・モノ・金をサポートするために、労務・MAS・会計の3つの事業部を立ち上げました。なかでも、5年前に

立ち上げたMAS事業部には力を入れていきます。MAS事業部では経営計画の作成・指導・セミナー・MAS監査などを行っており、現在、30代の社員が3名で担当しています」

ところが、なかには帳簿付けすらままならない企業もあります。そこで、事務所では帳簿の付け方をレクチャーしたり、場合によっては資金繰りの代行を行うこともあるそうです。

「厳しい時代ですから、経営者が少しでも長い間、経営に専念できるように環境をつくってあげることが大事だと考えています。とくに製造業の経営者の場合、金型づくりなどの専門分野には強くても、経営や数字には疎い場合が多いですから」

もちろん、顧問先への情報発信にも全力投球しています。3階にあるセミナールームでは、月に1回のペースでセミナーを開催しています。

「2年ほど前から本格的にセミナーを開催するようにしました。弁護士や司法書士の先生方に講師を務めてもらうだけでなく、事務所の職員たちにも講師を務めてもらっています。当初は慣れない講師役に戸惑う職員もいましたが、最近ではすっか

り講師役が板についてきたようです。顧問先への情報発信を行いながら、職員のスキルアップにもつながっていると思います」

なお、セミナーのテーマは相続や事業承継など、顧問先からのニーズが高いものを中心に行っているそうです。

では、労務に関してはどのようなサービス体制を構築しているのでしょうか。

「弟が社会保険労務士の資格を取得して以来、二人三脚で顧問先のサポートを展開しています。おかげで、人事労務や給与問題まで、幅広い業

税理士までの道のり

森田先生が税理士になったきっかけは高校時代の授業だったそうです。「商業高校で商業実習という科目がありました。その授業で会社の定款を作成したり、試算表を作成したりといったことをしていくうちに自分でも商売に携わりたいと思うようになりました。そんな折、学校の先生に税理士という仕事があることを教えられ、それにピンときたのです」と森田先生。そこで、先生は高校卒業後、地元の税理士事務所の門を叩くことに。しかし、最初は人数が足りているということで断られてしまったそうです。しかし、それでも先生は諦めず、何度も足を運びつづけて、1年後にようやくその事務所に入れてもらうことができたのです。以来、森田先生はその事務所で9年ほど勤務し、その翌年に税理士資格を取得。昭和51年に事務所を開業したのです。



事務所で開催しているセミナーの様子

務のアドバイスや代行が可能になりました。従業員の少ない中小企業にはとくに喜ばれています」

こうした幅広い業務を実践しているために、職員教育にも力を入れていきます。先生は「専担制度」を設けて、スペシャリストの育成に努めているそうです。

「職員一人ひとりに登記や建設業許認可、生命保険といった具合に、自分が得意な分野を持つてもらおうようにしています。何かしらのスペシャリストになってもいい、事務所全体のボトムアップをはかり、職員たちには自信を持ってもらいたいと考えているのです。そのため、外部研修にも積極的に参加させるようにしています」

職員を教育するだけでなく、先生自身も相変わらず第一線で仕事に打ち込んでいます。実際、先生は開業して以来、早朝5時30分に起きて、朝7時に仕事をはじめるという生活を続けているそうです。

「職員たちが来る前に、郵便物の整理やメールのチェックなどの雑用を片付けるようにしています。夜になると、ロータリーなどの会合が多いので、時間を有効に使わなければ

ならないのです」

訪問時に試算表をつくる 徹底した現場主義

そんな森田勝己税理士事務所の最大の特徴は、迅速な試算表づくりです。

「職員には全員、ノートパソコンを持って顧問先に行かせるようにしています。その訳は、その場で試算表の作成を終わらせるためです。資料などを持ち帰っていたら、どうしてもその分だけ顧問先を待たせてしまいますから。そのため、職員の多くは朝から夕方まで、ほとんど外で仕事をしているのです」

この方針は先生が事務所に勤務していた頃に学んだもので、以来、一貫してこの方法を用いているのです。

「私が開業した当初はパソコンがなかったため、1日に1社の試算表作成が限界でしたが、今では2、3社分の試算表づくりにも対応できるようになりました。もちろん、作成した試算表のデータは持ち帰って、事務所のサーバに蓄積するようにしています」

ところで、先生は

開業以来、MJSシステムを活用してきたそうです。「以前、コンピュータとプリンタが一体化したラップトップ型コンピュータ『ミニエース』が出ていたのですが、私たちはそれを非常に重宝していました。現場で試算表づくりを行う際にとっても便利だったのです。今はそのハードが製造されていないので、顧問先の所でプリンタを借りて出力したり、携帯型のプリンタを持ち込んだりしています」と、その場での処理を以前から実行していたそうです。

地域の中小製造業をサポートされる森田勝己税理士事務所の益々のご発展をお祈り申し上げます。



広々とした税務会計部のスペース。顧問先の資料は風呂敷にまとめており、顧問先を訪問する際にはその風呂敷を持って出かけるようにしているそうです

百年企業

●(有)浜地屋

地元の魚を使った製品づくり 「ご当地かまぼこ」を全国へ!!

地域から愛され続ける明治15年創業の(有)浜地屋(三重県熊野市)。地元で獲れた魚を原料にかまぼこ作りをはじめ、昭和40年代からは海外からも原料を仕入れて、生産体制を広げてきた。しかし、現在は地産地消、地元産の魚を使ったかまぼこ作りに取り組んでいるという。

創業当時は地元の港に水揚げされた魚を使ってかまぼこを製造。店を開いて地元住民を相手に販売していたという。

「当時は注文に応じて配達などもしていました。2代目までは製造・小売りという形態をとっていました。昭和30年代後半、3代目になってからはスーパードなどの進出により、業者向けの卸にシフトしていき「ました」と話すのは4代目社長の浜地誠治さん。



5代目の浜地誠治さん。新しいかまぼこ作りに余念がない

しかし、数年前にこの路線を変更。「スーパード向けの低価格品とは違った付加価値の高い商品を販売するためだ。」「いわば原点回帰です。創業者と2代目は地元の素材で作ったかまぼこを自分たちで売っていました。それをもう一度やってみようという考えになったのです。そうすることで大手との差別化をはかり、安価な製品に負けない商品を作ることができると考えたのです」。

そこで、同社は3年前に地元魚市場の前にすり身の製造工場を建設、熊野灘産の魚を使ったかまぼこの製造に乗り出した。商品開発にあたっては「地元の漁師たちと連携して、商品価値の低い未利用魚なども有効活用しよう」ということになった。その第1弾として開発したのが「熊野揚げ」だ。白身魚を原料にしたかま

ぼこより黒っぽいのが、「魚そのものの旨みを凝縮した」のが特徴だ。さらに昨年12月には、県の主催する「三重県ブランドアカデミー」において開発した「スライスかまぼこ」を発売。これは板にのったかまぼこと違い、かまぼこをスライス状にしたもの。「野菜を巻いたり、チーズを挟むなど、アイデアしだいでいろいろなかまぼこ料理ができる」そうだ。パッケージは「女性や子どもたちにも興味を持ってもらいたい」ということから、デザイン会社の協力を得たという。

地域色を打ち出した商品を開発した浜地社長は、さっそく地元を中心



「スライスかまぼこ」(20%×5枚、260円)

に営業を展開。観光施設の売店やホテル、レストランなどの外食店に販路を広げている。「この2、3年でスーパード以外の販路が広がってきた。今後は百貨店やギフトなどにも販路を広げていきたい」と浜地社長は意欲を見せる。

◆後藤俊夫の百年企業レポート

同社の保存料を一切使わないかまぼこ作りは、地域からも安全・安心な食として大いに受け入れられています。また、原材料を海外ものから地元産に原点回帰させるといった点も、地域密着型に向けた取り組みとして評価できると思います。こうした原点回帰の取り組みと同時に、同社はイノベーションにも力を入れていきます。新しい魚食のスタイルを提案する「スライスかまぼこ」はその代表です。パッケージデザインに関してもデザインナーとコラボレーションすることで、若い世代にも訴求できるような工夫が凝らされています。創業の原点に立ち戻りつつ、時代に適応する同社の一連のイノベーションは、業種および規模の大小を問わず、すべての企業に参考になるでしょう。

後藤俊夫教授 東京大学経済学部卒業後、ハーバード大学でMBA取得。日本電気株式会社(NEC)に入社、ソリューションビジネス事業推進本部長等を歴任。静岡産業大学教授を経て、05年光産業創成大学院大学教授に就任。専門は経営戦略(フューチャービジネス)。

会計大将のファイル出力とExcelを活用すれば 顧問先に喜ばれる経営分析レポートを作成することができる

税理士法人グッドパートナーズ会計事務所では顧問先の自計化やデータ交換により、仕訳入力作業の時間を削減。空いた時間を活用して、新たなサービスとして顧問先に、経営に役立つ情報を提供している。さっそく、その取り組みについて代表社員の高橋和宏先生に、MJS中部・北陸圏伊藤邦良統括部長と名古屋支社の担当営業外川潤が聞いてみた。

伊藤 全面ガラス張りで見えから会計事務所とわからないですね。

高橋先生 以下敬称略 会計事務所は外から中が見えない閉鎖的な事務所が多く「入りにくい」というイメージがあります。そこで、事務所内が見えるようにして、入りやすい事務所にしました。しかし、少し見えすぎて女性のスタッフからは紫外線が...といわれます。

外川 顧問先からの評判はどうですか。

高橋 評判は良いですね。「綺麗ですね」といわれます。

伊藤 最近はいっぱいレス

化で資料などが目に付かない事務所が多くなっていますが、先生の事務所でも早い時期にペーパーレスに取り組まれたそうですね。

高橋 FAXはすべてデータ受信にしています。ダイレクトメールも多く、確認して必要なものだけ印刷しています。また、新聞や雑誌などの資料は、データで保存したほうが便利です。

伊藤 ペーパーレスに取り組んでいくことで、将来、どのように業務が変わるとお考えですか。

高橋 もっと進んでいけば、事務所の業務もクラウド化されると思います。各スタッフがノートパソコンやiPadを持ち、データの確認は、サーバーを見に行くようになるのではないのでしょうか。そうなれば、完全にペーパーレス化になるでしょう。しかし、紙の良さもあるのはたしかです。

外川 MJSの顧問先システムを数多く導入いただいておりますが、顧問先を自計化するメリットは、どんな所に感じますか。

高橋 会計事務所側と顧問先側の両方にメリットがあります。事務所側では記帳業務といった単純作業の効率化が図れます。そして、空いた時間を別のサービスに展開することができ、顧問先ではレベルの違いはありますが、経理というものを認識していただけるというメリットがあります。数字を自分で扱うことで、その重要性を理解していただけるのです。さらに、組織的な体制をつくれる顧問先ならば、会社側でリアルタイムに数字を確認できるところも大きなポイントです。私が担当しているある程度の事業を営む顧問先については、すでに8割は自計化しています。

外川 あと、残り2割の顧問先への自計化も進めていかれますか。

高橋 二極化すると思っています。どうしても自計化できない顧問先もあります。そのような顧問先には、無理に自計化を勧めるのではなく、いかにリーズナブルな価格で記帳代行を行えるかを考えることも必要だと思



名古屋支社
外川 潤

MJS執行役員
中部・北陸圏統括部長
伊藤 邦良

ます。自計化できる顧問先には、記帳代行業務で報酬をいただくのではなく、高度な税務や経営まで踏み込んだ対応で顧問料をいただけるように努力しています。

外川 Excelも活用されていますね。

高橋 顧問先には、Excelで作成

した出納帳に入力していただきます。そして、会計大将の『データ交換』で仕訳連結するようにしています。会計

大将の機能にもExcel出納帳はありますが、事務所オリジナルでシンプルなものを作成しました。そのほかにも、インターネットバンキングのデータがCSVで出力できるので、そのデータを会計大将に取り込めるように加工して連結しています。この方法は名古屋でMJSを利用していらっしゃるから教えていただきました。

外川 特に『iCompas会計』を数多く導入していただいています。高橋 ひとはなるべく顧問先に導入するシステムは統一したいということ。それから、『iCompas会計』ならば、事務所のスタッフ全員が問い合わせに答えられるというのが理由です。そういえば、最近発売された『記帳くんVer.10』では、簡単な給与計算ができる機能があると聞きました。小規模な顧問先では、所得税の計算をしてくれるだけでも十分です。また、年末調整とも連動するので、入力の手間がなくなる点が興味深いです。

伊藤 顧問先からの経営に関する相談は変化していますか。

高橋 ここ数年は中小企業にとって厳しい環境です。そのせいか、節税ではなく融資の受け方や利益の上げ方

に関する相談が多くなりました。事業計画の作成を手伝ってほしいという話も多くあります。

伊藤 会計大将のデータを加工して資料を作成していると聞きまして、どどのような資料を提供されていますか。

高橋 『ファイル出力』を活用して資料を作成しています。会計大将のほとんどの帳票がファイルに出力できま

すから、そこからExcelを活用してグラフなどに加工しています。

伊藤 いつ頃から始められましたか。

高橋 10年ほど前から管理資料を提供しています。最近、提供しているのが「財務分析レポート」という資料です。この資料では、まず「マネジメントレポート」で概略を説明するようにしています。そして、次に貸借対照表・損益計算書にキャッシュフロー計算書、銀行別の資金残高、経常利益の増減の要因分析と主な項目の月次推移などを3枚にまとめて作成しています。会計大将の帳票をファイル出力して貼り付けるだけですから、スタッフに事務作業の負担をかけずに作成することができます。

伊藤 増減の要因などにはコメントが記載されていますね。これは担当者が書いたのですか。

高橋 定型文章を用意していますが、なかにはさらに詳しい説明を書き入れる担当者もいます。

外川 概要とグラフで見やすくなっていますから、説明もしやすそうですね。

高橋 そうですね。すべてを説明しなくても、経常利益の増減の要因説明をするだけでも違います。特に評判が良いのがグラフです。

伊藤 会計大将とExcelだけで顧問先様に喜ばれる資料が作成できるということですね。顧問先様から管理帳票についての要望は出てきま

すか。

高橋 ありますね。たとえば、飲食業では店別の売上と人件費と水道光熱費のグラフがほしいといわれることがあるので、部門を利用して対応するようにしています。会計大将なら売上、人件費、水道光熱費だけの推移表を作成することができから、あとはExcelに貼り付けてグラフにするだけでOKです。顧問先からの要望には、ほぼ対応できていると思います。

伊藤 今後、事務所として取り組んでいきたいことはありますか。

高橋 今後は顧問先に対して予算管理を指導していこうと考えています。この場合「利益計画シミュレーション」を使うことになるのですが、入力と確認の切り替えがしづらいので、改良していただけると良いですね。

伊藤 最後に顧問先への新たなサービスを検討している事務所にアドバイスはありますか。

高橋 数字を扱う職業ですから、Excel

は活用されていると思います。ですから、それをベースに『ファイル出力』や『データ交換』といった機能を簡単な部分から利用してみると、会計大将の便利さがわかれると思います。それからMJSへの要望ですが、会計大将の機能でグラフ作成が簡単にできるようなと良いですね。任意に選択した科目を加算してグラフにするなどの機能がほしいです。

伊藤・外川 本日はありがとうございました。ご指摘いただいた改良点や要望は検討させていただきます。

〈取材先事務所〉
税理士法人
グッドパートナーズ
会計事務所
代表社員／高橋 和宏
所在地／〒500-8381
岐阜市市橋3丁目13番15号
TEL／058-275-7788
導入システム／
ACELINK Navi



高橋 和宏先生

※本インタビュー記事に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

社風に合った労務管理対策を組み合わせて 未払賃金、未払残業手当のリスクを回避!!

多発する未払賃金や未払残業手当に関するトラブルに、いかに対応するのか。それが中小企業にとっての大きな課題となっている。そこで、今月号では未払賃金や未払残業手当に関するトラブルにいかに対応するかについて、コンセルト社会保険労務士事務所の多田智子社会保険労務士とアクタスマネジメントサービス(株)の江原努社会保険労務士にアドバイスしてもらった。

残業制度の導入で 未払リスクを軽減

未払賃金、未払残業が社会問題となったことで、労働基準監督署による夜間抜打検査などが行われ

ることもあるという。もちろん、こうした検査はそれほど頻繁に行われるわけではないが、何事も備えあれば憂いなし、いつ検査が入っても問題がないような仕組みづくりを行っておく必要がある。そこで、いくつか対策となる制度をチェックしてみたい。

「残業許可制」を導入して 計画的な残業を推進

まずは「残業許可制」だ。これは残業する際に、事前に上司に対して残業理由や業務内容、残業時間を届けなければならぬという制度のこと。江原氏によると「計画的な残業の推進」がこの制度の目的。やり方によっては残業削減だけでなく、労働者の健康管理につながるなど、副次的効果も期待できる」という。

ただし、「残業許可制」を導入す

る場合には注意が必要だ。たとえば、残業の内容が本当に残業するに値するかどうか、またどの程度の残業時間が必要なのかを適正に判断することがポイントとなる。さらに、残業許可を出すための手続きや書類、基準、記録システムなども設ける必要がある、その運用ルールを労働者に浸透させることが重要だ。

「固定残業制度」を導入して 残業手当をシンプルに

ふたつ目は「固定残業制度」だ。これは、たとえば一般社員で基本給20万円＋営業手当2万円という賃金構成にしたい場合「基本給20万円＋固定残業手当2万円(残業12時間分支給)」とし、残業が12時間を超えたら割増賃金を支払うようにする」という給与規定にすることで、

給与の中に12時間分の残業を含ま

せることができるという手法だ。ちなみに、業務手当などの名目で手当を支払っている場合は、支給理由として「残業が発生する職務だから、基本給とは別に支払っている」ということを就業規則や雇用契約書で明示しなければならない。

では、規定時間を超えて残業させてしまい、従業員から「残業手当を支払ってほしい」といわれたらどうするべきか。その場合、経営者側は不足分の残業手当を支払う義務があるので、ただちに支払いに応じる必要がある。「固定残業制度」を導入したからといって、残業時間をいくらでも延長させられるわけではないということを肝に銘じなければならない。

19業種だけが採用できる 「専門業務型裁量労働制」

3つ目は「専門業務型裁量労働制」

だ。これは業務の性質上、業務遂行の手段や方法、時間配分等を大幅に労働者の裁量に委ねる必要がある業務として法令で定められた19業務に関して、労使協定であらかじめ定めた時間を労働したものとす制度のこと。ちなみに、19業種のなかには「新商品若しくは新技術の研究開発又は人文科学若しくは自然科学に関する研究の業務」やデザイナー、プログラマー、記事の取材又は編集の業務、インテリアコーディネーター、公認会計士、弁護士、建築士、不動産鑑定士、弁理士、税理士、中小企業診断士といった業種がある。

この制度を導入する際にはどういったポイントを押さえておくべきなのか。「単に残業代の削減を行うのではなく、自主的な仕事への取組意識を高め、生産性を上げること」に主眼を置くべきである。また、従業員と労使協定で結ぶ「みなし労働時間」の導入にあたっての取り決め事項などを周知させなければならぬ(多田氏)。ちなみに、制度の導入にあたっては「原則的に仕事の進め方や時間配分などの具体的な業務指示を行うことはでき

ない」ということにも注意が必要だ。ところで、19業種には税理士が含まれているが、この場合、法令に基づいて行う税理士の業務であり、税理士以外の者(税理士有資格者で登録していない者、税理士事務所で勤務する税理士資格のない者)が行う業務は含まない。そのため、「専門業務型裁量労働制」が適応されるのは、大企業に勤める税理士登録者が、その企業の税務関係の業務を行う場合などに限定される。

制度導入だけでなく 労働時間管理も見直すべき

しかし、いくら対策を立てても、労働時間の記録をしっかりと取っておかなければ本末転倒になってしまう。「会社が記録を持っていないければ、手書きの記録であっても労働者側の主張のほうに通ってしまう。場合によっては会社が記録を取っていないことをいいことに、架空の残業手当を請求される可能性もある」(多田氏)。また、江原氏は「多少面倒でも労務管理システムを導入して、労働時間の管理を正

確にしておくべきだ」と話す。

というわけで、最後に労働時間の管理についての注意事項を整理してみたい。何よりも労働時間の管理を行う場合には、経営者側が従業員の出勤時間を正確に把握しておかなければならない。もちろん、勤務時間の把握が難しい業種については、自己申告制を導入することができ、申告された時間と実際の労働時間とのギャップがないかのチェックがネックになる。たとえば、長時間労働を見過ごしてしまうと、あとになって従業員から賃金未払いの訴えを起こされてしまうリスクが生じる。

残業単価に含んで良い手当と だめな手当との違いに注意

残業手当の計算に関しても、間違っていないか確認する必要がある。たとえば、労基署の調査でよく指摘される事項として、残業単価の計算式に手当を一切含めず、基本給のみを残業単価の対象にしているケースがある。中小企業では賞与や退職金を抑えるために基本給を低く抑えて、職能給や役職

手当、住宅手当、皆勤手当、勤続手当など、数多くの手当をつけることがある。しかし、残業単価の計算式に含めなくていい手当は、労基法で明確に定められているの
で要注意。それは①家族手当②通勤手当③別居手当④子女教育手当⑤住宅手当⑥臨時に支払われた賃金⑦1カ月を超える期間ごとに支払われる賃金の7つのみ。

そのため、自社の認識では残業代をすべて支払っていると思っ
ていても、実は知識不足から残業未払いが発生している企業も少なくない。そして、これら7つ以外の手当を残業単価の計算に含めていないことが露見すると、未払い残業となり、最大2年遡及して支払う必要がある。

未払対策にはいくつかのパターンがあったが、それを導入するには労働時間を把握しているのが大前提となる。そのうえで、ここで紹介した対策のなかから、自社に合った対策を探さなければならない。

※シリーズ企画「改正労働基準法のポイント」は最終回となります。ご愛読いただき、ありがとうございます。

我が事務所の顧問先紹介

日本のはきものの伝統文化である「下駄」を通して「より楽しく、健康的な毎日を送ってもらおう」をモットーに、履き心地の良い新しい下駄づくりにチャレンジし、成長を続ける水鳥工業。同社二代目の水鳥正志社長に後藤隆税理士事務所の後藤隆所長が訪問インタビュー。

後藤先生（以下敬称略） 沿革を見ますと、昭和12年（1937年）に初代の水鳥太一さんが「げた生地」の製造を始めたとありますね。この「げた生地」とは何を指すのですか。

水鳥社長（以下社長略） 下駄の木の材料のことです。当時は下駄の製造が、塗り、蒔絵、鼻緒などに分業化されていました。親父はその下駄のベースとなる木の生地を作っていたのです。

後藤 昭和60年（1985年）に先代に代わって代表取締役就任され、平成元年（1989年）にあらためて下駄の製造を始めたとありますが、

そのきっかけはどのようなことですか。

水鳥 昭和38年頃、着物を着る習慣の衰退とともに下駄が売れなくなり、サンダル業界に飲み込まれてしまいました。そのとき、当社もサンダル材料の加工卸を始めたのです。し



後藤 隆先生（左）と水鳥工業 水鳥 正志社長（右）

いまさら下駄なのだとか散々いわれました。しかし『履き心地の良い下駄』を作れば売れると確信していました。

後藤 考えられていた『履き心地の良い下駄』とはどういうものだったのですか。

水鳥 下駄といえば、これまでは足裏に当たる部分が平らな板で、鼻緒は真ん中に上げるなど左右の区別もなく、しかもサイズもない状態で、決

して履き心地の良いものではありませんでした。そこで、靴と同じように左右別に足裏にフィットさせ、足の甲をつつみ込むように鼻緒を上げることにしました。そうすることで、足に優しく、一日中でも履き続けられる下駄が作れるはずだと考えたのです。また、サイズについても、靴と同じ基準で16センチ〜32センチまで揃えることにしました。

後藤 足裏にフィットさせるために、どのように工夫されたのですか。

水鳥 最初に作ったのが「げた物語」です。「げた物語」は通常靴の製造に使われる木型を使い、足の形状にフィットするように彫られているので、履き心地が抜群です。だから軽快に歩くことができ、長時間履いても疲れにくいのです。また、足裏にピタッとフィットするように、左右の土ふまずや指に合わせて柔らかな曲線状に彫り込んでいます。この形状が安定した歩きやすさを生み出します。靴の中底を創った経験が生きました。



「げた物語」

大きい方（32cm）は、琴欧州関も履いたことがあるとか

後藤 新しいものの販売は認知されることが重要ですが、プロモーションはどのようにされたのですか。

水鳥 平成12年（2000年）から「東京インターナショナル・ギフト

「ショー」に出演し、その反響でデパートからオファーがあり、実演販売をするようになりました。これが非常に好評で、結果的に全国のデパートを回るようになりました。1年の1/3は会社にはいない状態で、まさに「動く広告塔」といった感じですね。また、ありがたいことに多くのマスコミに取り上げられ、記事として紹介されることにより販路が広がりました。

後藤 水鳥の下駄は本当に健康に良いのかという科学的な証明をされたとか。

水鳥 平成16年(2004年)に静岡大学との共同で実験を行いました。素足の場合と下駄を履いた場合の歩行前と30分後の足裏の血流循環量と重心位置の計測を行いました。その結果、水鳥の下駄を履いた場合、血液循環量が活発になり、重心の位置も靴の場合とは後ろにあるのですが、前方の最適など、足の近づき、足の指のつかむ力が



静岡産のひのきを使った「SHIKIBU」

「浮き指」の解消につながるということがわかりました。

後藤 開発中の画期的な新製品があるそうですね。

水鳥 静岡は林業が盛んだったのですが、外材に押されて山の荒廃が問題になっています。そこで、新たに地元静岡の木材を使った下駄作りに取り組んでいます。そして、その過程で成長した木を切り、若木を植えていくわけです。若木はCO₂をたくさん吸収してくれます。適切な伐採と植林は、地球の自然のサイクルを守る大切な作業なのです。静岡の木を有効に活かし、環境保護に役立つエコ商品開発を進めています。今開発している製品は、チップとして燃やされてしまうような材木を有効に使う製品です。木材と木材をゴム素材でつなぎ、折り曲げられる構造になっています。これにより階段の上り下りが格段に楽になるのです。ちなみに、製品名は「two piece」で、



新製品のエコ商品
「two piece」

発売は1月6日です。この号が出る頃には、販売されていますので是非お試しください。

後藤 今後の事業展開は、どのように考えられていますか。

水鳥 “世界中の方にもっと下駄を知ってほしい”と思います。「下駄」は日本の風土にあった美しい文化です。その文化を世界に広めていきたいですね。そのためには、一日履いても足が痛くならにくく、履き心地が良く、しかも現代のライフスタイル、

発売は1月6日です。この号が出る頃には、販売されていますので是非お試しください。

後藤 今後の事業展開は、どのように考えられていますか。

水鳥 “世界中の方にもっと下駄を知ってほしい”と思います。「下駄」は日本の風土にあった美しい文化です。その文化を世界に広めていきたいですね。そのためには、一日履いても足が痛くならにくく、履き心地が良く、しかも現代のライフスタイル、

◆後藤事務所との 顧問関係について

水鳥 後藤事務所とは、先代が昭和27年から後藤先生のお父さんのときからお願ひしていますので、58年の付き合いになりますね。

後藤 親父が開業したのが昭和26年です。その翌年からの付き合いになります。私が見るようになったのは、関与簿を見ると昭和55年11月1日から記録に残っています。おたがいに創業時から付き合いですので、事務所の旅行にも参加いただくなど、家族同然の関係です。

生活シーン、色々なファッションにも合わせられる下駄を作らねばなりません。デザインを重視した下駄をデザイナーとのコラボレーションで作ったりもしてきました。これから世界に受け入れられる下駄を作っていきます。

後藤 静岡発の企業として、これからも頑張ってください。

■訪問事務所概要

事務所名…後藤隆税理士事務所

所長…後藤 隆

住所…〒420-0047

静岡県静岡市葵区清閑町3-21

TEL…054-254-0351

■会社概要

商号…株式会社水鳥工業

本社…〒420-0876

静岡県葵区平和1丁目18番22号

TEL…054-271-6787

FAX…054-272-1302

代表者…水鳥 正志

創業…1937年(昭和12年)

会社設立…1975年4月1日

(昭和50年)

資本金…1000万円

従業員数…15名

事業内容…●下駄製造販売 ●サンダル・シューズ材料部品の製造及び加工販売

URL : <http://www.mizutori.co.jp>

ご当地自慢

愛知県・安城市

案内人／永谷文人税理士事務所

税理士 永谷 文人先生

愛知県といえば、名古屋や豊田といった地域のイメージが強いかと思いますが、今回は私の地元・安城市の見所をご案内したいと思います。農業のまち、自動車産業のまちとして発展してきた安城ですが、ここにはテーマパークや和泉手延べ麵、安城芸妓など、独自の魅力もたっぷりあります。その魅力をひとつずつ紹介していきます。

安城の中心に位置する観光地産業文化公園「デンパーク」

愛知県安城市は昭和30年代に「日本デンマーク」と呼ばれたことがありますが、まちは農業大国だったデンマークと産業構造が似通っていたことから、日本における先進的な農業地域ということで、その異名をとるようになったそうです。それから長い年月が経ちましたが、今でもJRの駅舎がどこことなく北欧をイメー



デンパーク正面玄関

ジしたデザインになったり、まちの随所にデンマークをイメージした看板や標識などが立てられたりしています。

そのなかでも、デンマーク色をハッキリと打ち出しているのが安城産業文化公園「デンパーク」という観光施設です。ここは市が農水省や愛知県の助成を得て立ち上げた施設で、①農村と都市の共存②農業情報の受発信基地③農、工、商の調和のとれた産業振興④新しい余暇活動の提案⑤新しい観光資源の開発を目的としています。13万1000平方メートルという広大な敷地に3250種、28万株の花木が植えられており、季節の花木を眺めながら散策するにはもってこいのスポットです。

また、園内のガラス温室にはデンマークの街並みが再現されており、



人魚姫像の前で永谷先生と神谷さん

ヨーロッパから輸入された雑貨や食料品を買うことができるようになっていいます。なお現在、この温室にはオルゴールコーナーが設けられており、珍しいオルゴールを見ることが出来ます。「とくに世界最大級の自動演奏オルゴール『ポール・ラッシュ』は必見です。100人編成のオーケストラに匹敵する音色と音量を出すことができ、これを目当てに訪れる方もいらつしやるほどです」(デンパーク事業課企画広報係の神谷恵作氏)。

食事も「デンパーク」での楽しみ



デンパーク花時計

のひとつです。とくに人気なのが三河ポークの手作りソーセージと安城和牛を使った「デンバーガー」というハンバーガーで、「イベントなどで訪れる芸能人などが、あまりの美味しさに思わず買って帰るほど」(神谷氏)だそうです。また、農場レストラン「花車」は地産地消をテーマにしており、地元農家がつくった産直野菜をバイキングでたっぷり食べることができるようになっています。さらに、園内では安城デンビール(株)の工場とレストランが設置されており、その場で地ビールを飲むこともできます。安城デンビールの田中正士専務取締役によると地ビールの種類はアンデルセンの童話をモチーフにした「裸の王様」「黒鋤麦酒」「人魚姫の恋」の3種類で、なかでも「人魚姫の恋」はす

つきりした飲み口が女性を中心に人気を集めているそうです。

そのほか、ご家族連れにおすすめなのが体験講座です。ソーセージ作りやパン作り、そば打ち体験、草木を使ったオブジェ作りなど、豊富なバリエーションが用意されているので、来る度にいろんな楽しみ方ができるでしょう。

父が残した技を継承する 和泉手延べめんの「沓名製麺所」

つぎに安城名産「和泉手延べめん」をご紹介します。「和泉手延べめん」は今から200年前に、三河鷺塚（現在の碧南市）の人が江州彦根で覚えた製麺の技を和泉の農家に伝え、誕生したといわれています。自然熟成や手延べ、天日干しといった製法は滑らかでありながらもコシのある食感を生み出し、今も昔も多くの食通たちを唸らせています。

というわけで、私の顧問先でもある沓名製麺所のもとを訪ねてみました。現在、この製麺所で働いている沓名靖恵さんは、先代である父上が脑梗塞で倒れた後にこの仕事に就きました。「麺作りは父親がすべて仕切っていたので、大まかな流れはわかっていても、麺を乾燥させる際の温度管理や湿度管理といった細かいことが何もわかりませんでした。ですから、最初の頃はほかの製麺所の方に、麺作りのコツを教えてもらうこともありました」。

その後、靖恵さんは06年に結婚し



「沓名製麺所」の看板の前立つ永谷先生



職人技が光る麺作りの光景

ひやむぎ、オリジナル麺など。とくに、最近では「素麺とうどんの間」くらいの細さに仕上げたオリジナル麺が人気です。茹で



伝統の手延べ麺作りを継承した沓名靖恵さん

て、今はご主人の俊彦さんと母と一緒に麺作りに励んでいます

時間が少なくてすむあたりがウケているようです」と靖恵さん。沓名製麺所の麺は贈答用としても人気が高く、私も使っています。

若手を育てるシステムで 成長を続ける「安城芸妓」

さて、最後に「安城芸妓」を紹介したいと思います。芸妓といえば、京都や金沢といった古都を思い浮かべる人が多いと思いますが、ここ安城にも20名を超える芸妓さんがいます。安城では農業が盛んだったこともあって、資金力を持った農家の力で芸妓文化が花開くようになったといわれています。そして、デンソーやアイシン精機が拠点を置くようになると、今度は自動車製造の関連事業者たちによって、芸妓文化は支えられてきたのです。まさに、「安城芸妓」は地域の産業とともに発展を遂げてきた文化なのです。

現在、安城には7軒の置屋があり、それぞれが芸妓さんたちを抱えています。取材当日は料亭「川本」にて、「双葉寮」（置屋）の美香さんと「かすみ寮」（置屋）の由美さん、ひと美さんの3人に集まっていたので、話を伺いました。御三方によると「このように安城の芸妓文化が残っているの

は、有志による安城芸妓文化振興協会がしっかりと芸妓さんたちを支援してくれているからだ」そうです。「芸事を習うために必要なお金などが補助されるようになっているので、若い人たちでも積極的に芸事の世界に飛び込むことができるようになっています」。ちなみに、美香さんはすでに置屋の運営も手掛けており、さらなる若手の育成にも力を入れているそうです。こうした動きがあるかぎり、これからも「安城芸妓」は成長し続けると期待しています。

安城の魅力について紹介させていただきましたが、いかがだったでしょうか。是非とも足を運んでいただき、こうした魅力を体験していただきたいと思っています。



左から安城芸妓の由美さん、ひと美さん、美香さん

ご当地自・慢 愛知県・安城市

モニター キャンペーン中!

MJSセキュア ストレージサービス

地震や水害などの災害によりデータを損失した場合、データの復旧には膨大な時間とコストがかかります。MJSのセキュアストレージサービスは、インターネットを利用してデータセンターに安全にバックアップを行うサービスです。今なら、モニターとして10GB分のバックアップを1カ月無償でご利用いただけます。



モニターキャン

ペーンのお申し込みは、平成23年2月28日迄です。モニターのお申し込み、サービスの詳細については、担当支社までお問い合わせください。

最新プログラムを いち早く利用できる!

オンライン アップデート

Webサイトから法改正・機能アップなどに対応したアプリケーションの最新版を自動的にダウンロードするサービスです。事前に日時を設定しておくことで、ご利用のアプリケーションの更新があった場合、MJSサーバからお客様のサーバやパソコンに自動的にダウンロードされます。また、ダウンロード完了通知を担当者にメールにてご案内しますので、更新情報を見逃すこともありません。詳しい説明は、TVSサイト(※)まで。



<http://tvs.mjs.co.jp/sys-sup/online.html>

※TVSご契約者様専用サイトです。

東京ミロク会計人会TOPICS

「第1回合同委員会」を開催!! 会活性化の第一歩に。

関東信越会に引き続き、東京ミロク会計人会(会長・金井塚清)では、平成23年1月6日(木)、(株)ミロク情報サービス「セミナールーム」(新宿センタービル48階)にて、第1回合同委員会を開催しました。会長、副会長をはじめ5委員会のメンバー37名、MJSから18名、計55名の参加を得て、開催されました。



いて5委員会の設置案が承認されました。その決定を受け本日第1回の合同委員会を開催し、その後各委員会を開催し、議案を審議していただくことになりました」と説明され、目的について「個別委員会・合同委員会の開催を通して、各委員会の情報交換並びに連携をはかりながら、各地区会・本会・連合会の活動と情報が伝わることを、また会員の声をベースとした活発な会運営を行い、本会の存在意義を高め発展していくこと」と話されました。

委員会は連合会と同じ「総務委員会」「システム開発委員会」「情報ネットワーク委員会」「広報委員会」「研修委員会」の5委員会。委員は「東京東」「東京西」「東京南」「東京北」「多摩・山梨」「神奈川」「千葉県」の各地区会から選任されています。

5月号の「まるごと東京会」の編集にあたり急ぎよ広報委員会が招集され開催されました。それが契機となり、同年5月の理事会にお



会 計 人 の

リレーエッセイ

中部ミロク会計人会 大石 準二

駿河湾の幸

静岡県といえば何といっても静岡と山梨にまたがる富士山がワールドクラスの知名度です。

また、静岡県人にとって身近で大切な存在として駿河湾もあげられます。国内の湾のなかでもっとも深く、水深が2500メートルもあります。

日本一の標高の富士山と水深の駿河湾は、大昔の地殻変動によって生まれたといわれており、現在も東海大地震の発生が懸念されています。

しかし、湾内には数多くの魚類等が生息しており、水産資源の宝庫でもあります。この資源のなかでもっとも自慢できるものとして桜えびがあります。現在、由比漁港、蒲原漁港そして大井川漁港の三港で水揚げされています。

桜えびは昼間は水深の深い所に生息し、夜間になると海面近くに上がってきます。そのチャンスを狙って捕獲するので、漁期は3月下旬から6月上旬の春漁と10月下旬から12月下旬の秋漁の年間2



生桜えび

回です。ここ数年は、残念ながら不漁が続く、その影響で高値になり、昔では考えられない高級食材の仲間入りをした状況です。そこで、駿河湾では資源保護の面から、漁業では珍しいプル制という画期的なシステムを導入しています。通常、漁業界では水揚げ高の多寡が収入に影響しますが、このシステムでは漁船間の過当競争を防止するために水揚げ高を均等に分配するようになっていくのです。ある意味では、きわめて合理的な方法かもしれません。

さて、次はこの桜えびの味と料理の話に移ります。全国的には、桜えびは天日干しした物が流通していることと、思います。しかし、地元では釜揚げした物、そして何といっても生桜えびが最高の料理です。美しい色、えびの殻の適度の固さ、そして上品な甘さを生姜醤油で味わうのは、まさに至福のときです。かき揚げも定番ですが、私としてはやはり生に軍配をあげます。

桜えび自慢が続きましたが、ここ静岡県にはお茶、みかん、生シラス等々、全国的にみても有数の食材が豊富にあります。静岡にお越しの際には、ぜひ食してみてください、格別です。

表紙の写真

「オアシス21」（愛知県名古屋市）

平成14年にオープンした公共施設と商業施設との複合施設で、もともとNHK名古屋放送会館と愛知県文化会館があった場所に建てられた。外観は近未来的なデザインで、水が張られた大きな屋根があるのが特徴。商業施設のなかにはファッション、雑貨、グルメなどの店舗が並ぶ。地上には芝生や樹木が植えられており、市民の憩いの場としても機能している。地下にはバスターミナルがあるので、交通の便も抜群だ。



月刊 税理士事務所 Channel 通巻354号

- 発行／株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-29-1
TEL. 03-5326-0304（ミロク会計人会事務局）
- 発行人／是枝 周樹
- 編集企画／ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会事務局
- 配信制作／東方通信社
- 印刷／御幸印刷株式会社
- 購読申込／株式会社ミロク情報サービス
- 禁無断転載

月刊税理士事務所

CHANEL

平成三年二月一日発行（毎月一日発行）第三百五十四号

発行 株式会社ミロク情報サービス

〒一六〇・〇〇〇四 東京都新宿区四谷四・二十九・一

電話〇三（五）三三六〇三〇四